

薬物乱用防止教室

先週13日（金）に薬物乱用防止教室を開催しました。

昨今、大きな社会問題になっている危険ドラッグなどの薬物。この薬物乱用の危険性を中学生の時から認識させ、健全な心身を育成することを目的として毎年開催しています。

今年は、NPO法人 東京ダルクから職員の方と利用者の方を講師として招きお話を伺いました。ダルクとは Drug Addiction Rehabilitation Center の頭文字をとったもので、薬物依存症から回復して社会復帰を目指す人のためのリハビリ施設です。実体験を基にしたお話は、その危険性が生徒たちの心にしっかり残ったようです。





【生徒の感想】

- ◎薬物の話についてよく知らなかったが、今回聞いてみて薬物の怖さを知ることができた。1回乱用すると、やめたくてもやめられないという言葉が印象に残った。大人になって、どんなことが起きても絶対に使用しない。使用したら、大変なことになるという危機感をもち続けたい。

- ◎今日の薬物乱用防止教室は、実際にドラッグを使用した人の話を聞くことができて、あらためて本当にドラッグは危険なんだなと思いました。これからも、絶対にドラッグは使用してはいけないなと思いました。もし、将来ドラッグに出会ったとしても、勇気をもって断ろうと思います。断ることのできる大人になろうと思います。そして、身近にもし使用している人がいたら、東京ダルクのような場所を勧めようと思います。

- ◎私は今まで、薬物に対する恐怖についてあまり詳しく知ろうと思いませんでした。しかし、今回のお話を聞いて、とても怖いものだなと思いました。『1回だけという考えが、今後の人生を大きく変えてします』ということをお忘れなideたいと思います。使ってしまったからやめようと思っても、やめられないので薬物は絶対に使いたくないなと思いました。薬物の恐ろしさをとてもわかることができ良かったです。